

英語による大学院 特別講義（連続5回）の開催について （お知らせ）

2012年1月10日（火）～12日（木）

【テーマ】 国際比較統計研究 Comparative Study of International Statistics

【講師】 川崎 茂 元総務省統計局長

国内及び海外の統計に精通した官庁統計の専門家。現在の研究テーマは、国際統計論、統計制度論、国勢調査、標本調査の方法論など。

1975年に総理府統計局（現総務省統計局）に入職し、同局のほか、国連などにおいて統計の作成、分析、教育などに携わる。2006年から2011年まで統計局長。国際官庁統計協会会長（2013年から就任予定）。



【講義の内容・目標】

この講義では、統計を活用した国際的な比較分析を行うために必要とされる基礎的な知識・能力を習得することを目標とします。

グローバル化の進展している今日、世界の社会・経済情勢を的確に理解する上では、統計データに基づいて国際比較を行うことが重要となっています。統計の国際比較を行う上では、多岐にわたる情報源の中から研究・分析の目的に合った統計データを探す知識・能力や、統計の概念・定義など統計の作成の基礎にある「国際基準」について正しい理解が必要です。

この講義では、国際統計の様々な情報源の特徴を概観するとともに、国際統計基準について解説を行い、これを通じて国際統計を活用する能力を習得することを目標とします。講義の中では、国際的に有用とされている統計情報源のウェブサイトを実際に見ながら、統計を利用する上で身に付けておくべき基礎知識を習得します。また、簡単な国際比較の実習を行い、統計データを通じて今日の国際社会の情勢について学びます。なお、講義の時間数の制約から、今回は、人口統計及び労働統計に焦点を当てることとし、他の分野の統計に関しては、今後の適当な機会があれば行うこととします。

【対象者】

この講義は、国際社会・経済の動向に関心を持ち、統計データを用いて国際比較を行うための基礎能力を身に付けたい人を対象とします。講義では、統計の分析に用いる手法や概念の基礎を紹介するため、受講の前提として、基礎的な数学の知識が必要ですが、統計学の専門知識は必須ではありません。講義は英語により行い、その中で質疑応答も行います。受講を通じて、統計の見方・使い方を英語で学ぶとともに、英語の聞き取りの力と会話能力の向上に挑戦して下さい。

【講義の時間割（予定）】

1月10日（火）4時限	17 A3 教室	導入、国際比較統計研究とは、国際統計情報源の概観
1月10日（火）5時限	17 A3 教室	国際統計基準の概観
1月11日（水）2時限	17 A2 教室	人口統計（情報源、国際基準、分析方法）
1月11日（水）3時限	17 A2 教室	労働統計（情報源、国際基準、分析方法）
1月12日（木）4時限	17 A2 教室	演習・質疑応答

※実際の進行は、講義中の質疑応答などを踏まえて変更する場合があります。

* 受講希望者は、1月10日午前9時までに、大学院事務室にメールで登録してください。

表題を次のとおりとしてください。（例：【大学院特別講義2012.1.10-12】●●学研究科 明治太郎）

コーディネーター	経営学研究科	藤江昌嗣	教授
問い合わせ先	大学院事務室	TEL03-3296-4142	dai_in@mics.meiji.ac.jp